

第7回昭和上條医療賞(2020年度顕彰事業) 受賞者決定

2020 年度顕彰事業「第7回昭和上條医療賞」の受賞者が決まりました

公益財団法人昭和大学医学・医療振興財団の2020年度顕彰事業「第7回昭和上條医療賞」は、2020年4月1日から受付を開始し、9月30日に受付を終了いたしました。「地域保健医療貢献部門」「医療人育成部門」それぞれに多数の応募をいただきました。10月に選考委員会による厳正な審査を経て、当財団の第32回理事会において受賞者が決定いたしました。今回は、「地域保健医療貢献部門」から、地域保健医療において創造的かつ先駆的諸活動を行い、大きな成果を挙げた個人ならびにグループを顕彰いたします。

授賞式は、12月14日(月)に昭和大学上條記念館において、下記により開催する予定です。

第7回昭和上條医療賞受賞者

〈地域保健医療貢献部門〉 3件

(50音順)

えだくに お 江田邦夫	江田小児科内科医院 院長
	①離島杵岐における医療・救急搬送・介護等の課題解決に三人の若い医師達の課題解決の活動は至誠を動かしたのだろうか ②離島杵岐の学校保健活動の躍進は飲み nication
くら た 倉田なおみ	昭和大学薬学部 客員教授
	簡易懸濁法の開発・普及と地域保健医療への貢献
幡多地区地域連携パス委員会 代表 よし い ち ろ う 吉井一郎	医療法人元湧会吉井病院 院長
	地域連携パスを通じた地域内脳卒中再発防止と骨脆弱性骨折発生防止への取り組み

第7回昭和上條医療賞授賞式

日時	2020年12月14日(月) 16時より17時まで (予定)
場所	昭和大学上條記念館 地下1階「富士桜」 東京都品川区旗の台1丁目1番20号
次第	第1部 授賞式 第2部 受賞者報告会